

花城産業 株式会社

自社開発した面取り機で
内外径を自動面取り

納期
相談
コスト
相談
メイド
イン
ジャパン
量
対
産
対



一貫生産できる現場

業務内容
切削技術を活かした
高度な面取り加工

工作機械用部品や産業機械用コンベヤーチェーン部品の加工を行う花城産業。チェーン部品の切削や面取りで実績を積み、メーカーから信頼を得ている。特に自社開発した面取り機は小径品から最大径Φ60まで、ピンやブツシユ形式のローラー等の多様な加工が可能。「その技術を応用し、業務の幅を広げてきました」と花城清友取締役。

現在では刃物自動交換のATC（オートツールチェンジャー）のマガジンポットの部品も提供している。刃物を自動で確実に交換する重要な部品を同社の高い技術が支えているのだ。

強み
徹底効率化で部品加工
月産2万5000個を実現

工場内の徹底した効率化も同社の強みだ。まず材料の手配に始まり、切断、加工、焼入れ研磨、メッキ等を一貫生産。機械の完全な自動化で、1個当たりのリードタイムを5秒から3秒に短縮。それにより他社の3倍の加工速度に当たる、面取り専用機1台で1時間に1000個の生産が可能になった。

また、過去には複合旋盤加工品の月産2万5000個を達成したことも。「海外に生産拠点を移す企業が多い中で、当社は工程を集約して短納期を実現しました。加工費も海外市場に負けません」と花城清司社長は語る。もちろんクオリティの追求も創業当初から変わらない。不良品ゼロを達成し、納品先から感謝状を贈られたこともある。

設備
知恵と工夫で現場を改善

同社のものづくりを支えているのは、設備力とそれを使いこなす技能にある。全自動面取り機や多数のNC旋盤等を持ち、5軸制御や対向主軸旋盤の導入によって、素材から製品化までの工程がスピードアップできるのだ。

「機械は設置するだけではない。工夫をプラスしなければ」と花城清友会長が言うように、同社には創意工夫が満ち溢れている。切断から加工ラインのレイアウト研究や、バリテック研究にも余念がない。「少しでもいい物を」との思いが改良につながっている。



社員が一丸となりものづくりを行う

今後の展望
CAD/CAMによる
5軸加工で技術を高度化

「当社は20〜30代の若手が頑張っています。もっと技能を高めて社会に貢献したい」と花城社長。CAD/CAMを導入し高付加価値の製品づくりを目指す。1人で複数台の機械を操作するスーパーマンを育てているのだ。まさにメイドインジャパンの底力を見せつけてくれる同社。「今後は医療分野等、市場の拡大も」と意欲を見せる。

COMPANY PROFILE

花城産業株式会社

大阪23

当社の
歴史

創業当初からチェーン部品の加工を続けてきました。長年の経験に改良を加えて、独自の設備を揃えました。新しい機械を導入するだけでなく、それをさらに効率よく動かすことを念頭にした結果、海外にも負けない価格と生産量を誇り、メイドインジャパンの高品質の製品を提供しています。「いい物をつくりたい」というこだわりを持って、さらにまい進していきます。

「期待を裏切らない」「お世話になった恩を返したい」という気持ちが成長につながります。

代表取締役社長 花城 清司さん



■主な事業内容

チェーン部品の加工、
工作機械用マガジン
ポット部品の製造 等

■主な取引先（納入先）

チェーンメーカー、高
圧ホース会社 等

住 所／〒574-0051

大東市新田境町4-7

T E L／072-872-7972

F A X／072-875-2522

創 業／昭和41年10月

設 立／昭和41年10月

資本金／2,000万円

従業員／15名

<http://www.hanashiro-sangyo.co.jp/>